

難病を患う娘のため、春日井市の町工場で働く両親が奔走する実話を基にした映画「ディア・ファミリー」(中日新聞社出資)の先行上映会が4日、名古屋・栄の中日ビル6階「中日ホール&カンファレンス」であった。抽選で選ばれた親子ら約470人が鑑賞した。映画は6月14日から、全国の映画館で公開される。心臓病を患い、余命10年と宣告された娘のため、医療とは無縁の町工場で働く両親が医療機器を製品化しようと奔走するストーリー。「君の臓器をたべたい」などで知られる月川翔監督がメガホンを取り、名古屋や春日井市など県内各地で撮影した。両親役を大泉洋さん、菅野美穂さんが演じた。

生きる勇気を伝えたい

「ディア・ファミリー」名古屋で先行上映会

この日の上映前には、父親のモデルとなった筒井宣政さん(83)が登場し、作品への思いを語った。娘の病気をきっかけに、医療機器の開発・製造などを手がける会社「東海メディカルプロダクツ」を立ち上げ、現在は会長に就いている。「多くの苦難に向かおうとする若者や家族、新しいピ



映画への思いを語る筒井さん(名古屋・栄の中日ビルで)

(唐崎綾香)